

9 月 1 日(木), 10 日(土)に 1 学年プレ課題研究のポスター発表会がありました。1 日は教室でクラス毎に, 10 日は体育館で全体に向けて行われ, 5 月から週に 1 回の授業時間と, 自分たちで計画して集まった時間で進めてきた研究を, 聴衆がローテーションをする形で発表しました。



<9 月 1 日(木)クラス毎の発表>



・発表の様子

発表時の雰囲気は聴衆がうなづく場面が多く, 発表しやすくなっていました。発表者によって原稿の暗記の程度には大きなバラつきが見られましたが, 原稿を暗記した上で聴衆に語りかけるように発表する人も見受けられました。

ポスターとは別に発表中に使う道具を作った班や, 実際に使用したアンケート用紙を聴衆に見せる班など発表内容をより伝えやすくしようと工夫を凝らした班もありました。

・質疑応答

今回の発表は, 事前に決めた質問者 3 名が甘口・辛口の書かれたカードを引き, それに合わせた質問やコメントをするという形式で質疑応答を行いました。甘口の質問の場合は良い点を挙げたり簡単なミスを指摘したりする内容が多く, 辛口の場合は結果や考察の矛盾点をついたものなど, 発表者側もあいまいになっていたような深く本質的な内容の質問・コメントも見られました。これに対して発表者側は, 辛口の質問・コメントの返答に悩みながらも, 自分たちの研究成果をもとに論理的に答えようとしていました。

どのクラスも全体的に活発な質疑時間となり, 指定された 3 人以外からも質問が出るなど意欲的な姿勢で取り組むことができていました。質問者・発表者を問わず, どちらも今後の発表時などに活かせるような経験を積むことができ, 充実した時間となりました。



・教員からのアドバイス

指摘された点は, 「メモを取ることに」や「発表者の立ち位置を気にすること」, 「原稿を暗記するのは聴衆を見ながら発表するためなので, 自分に原稿を手なずけること」など様々なアドバイスを頂きました。これらのことは学術だけに限らず様々な発表の場面で活かしていきたいと思います。

<9月10日(土)学校公開プレ課題研究ポスター発表会>

・発表の様子

どの班も、話し方、見せ方などに工夫が見られました。9月1日に行われたクラスでの発表会よりも、発表が分かりやすくまとめられていて、各班の練習の成果が伝わってきました。クラスでの発表会で指摘された「原稿を読むだけになっている」、「聴衆が見やすくなるような配慮が足りない」という点も改善されていて、良い発表会になったと感じられました。

発表会には本校の77回生だけでなく、76回生の先輩方をはじめとした、一高の先生方、他の高校の先生方、77回生の保護者、さらには見学の中学生など多くの人が訪れました。先輩方には評価シートを書いてもらい、貴重な意見、指摘を受け、視野が広がりました。本校77回生にとって、今後の研究、発表に向けての良い経験となりました。



・質疑応答

発表後の質疑応答の時間では、クラスでの発表会とはまた違った角度、視点からの質問が多く見



られました。先輩方からは、課題研究の先輩としてのアドバイス、来校者の方々からは、高校生にはない経験による指摘をいただきました。また、他のクラス、班の発表を見学した77回生の生徒からの質問もあり、他の講座、ゼミに対する関心の高まりを感じられ、これから始まる講座ごとの課題研究への意欲が高まったと思います。

一方で、質問がなかなか出ない班も少なからず見られ、今後は、聴衆側の積極的な発表への参加、研究をよりよいものにしようとする姿勢が求められると感じました。

・改善点

全体的に見た今回の改善点は、前述の、聴衆側からの質問が少なかったことに加え、発表者側が聴衆に目を向けず、他のところを見て発表しているという点も挙げられます。今後の発表では、聴衆側は、積極的に質問をすること、発表者側は、聴衆の顔を見て話すことをそれぞれ意識することで、さらに研究、発表が良いものになると考えられます。



編集後記

今回の発表は、77回生にとって、初めての研究成果を披露する場であり、多くの生徒が不安と緊張を感じていました。そんな中、先生方の助言や、同じ班のメンバー同士で協力することで、無事、課題研究活動に一区切りつけることが出来ました。今回の学びをこれから始まる講座、ゼミ毎の課題研究に活かしていきたいと思ひます。